

Date:2015/11/10

地元児童が橋桁内部にタイムカプセルを設置しました —地元PTA主催の手づくりイベントへの参画—



11月8日（日）に利賀地域児童生徒育成会（以下、「地元PTA」という。）主催のタイムカプセル設置イベントが利賀ダム建設事業の付替市道として施工した「下島大橋」が完成したことに合わせて開催されました。

下島大橋は利賀地域の生活道路となるもので、地元PTAから完成に合わせて児童生徒が参加するイベントを開催したいとの希望がありました。そこで、利賀ダム工事事務所は、このイベントの企画段階から参画し、地元PTA、利賀地域自治振興会、利賀ダム連絡協議会、南砺市の皆さまと協力して、事前準備や当日の運営、地元住民を対象とした現場見学会のお手伝いをさせていただきました。

タイムカプセルは、20年後の利賀村をテーマに小学生は絵、中学生は作文を作成して橋桁内部に収蔵し、南砺市合併30年となる年（約20年後）に作品をかいてくれたみなさんと一緒に開ける計画とのことです。



①利賀地域児童生徒育成会長の挨拶



②児童生徒代表による作品の紹介



③タイムカプセルの説明



④下島大橋の説明（利賀ダム工事事務所長）



⑤記念撮影（児童生徒の皆さん）

（次項へ続く）

当日の天気予報は雨でしたが、幸いにもイベント中は曇り空で、児童生徒の他、保護者や利賀ダム連絡協議会の方々など100名を超える地元住民の方々が参加されました。そして、多くの方が橋桁内部を見学し、児童生徒たちは冒険心をくすぐられ目を輝かせていました。また、大人たちからも「良い経験ができた」といった歓声がわいていました。

イベントに必要なテントや椅子などは市から提供されて、会場設営はできる限り手づくりで行われました。

利賀ダム工事事務所職員は、当日17名が参加して会場設営の他、児童生徒の誘導や橋桁内部への通行の安全確保等を行いました。参加した職員は皆、利賀地域の児童生徒たちの思い出づくりに関わったことにうれしく思っています。地元住民を対象とした現場見学会は、上部工の架設工事が進む豆谷橋梁にご案内しました。地元住民の方々は、現場のスケールの大きさに驚いておられました。

これからも地元地域のイベントに積極的に関わることで、利賀ダム建設事業に親しみを感じていただきたいと思います。



⑥児童生徒によるタイムカプセルへの作品収蔵



⑦親子で橋桁内部の見学



大勢で下島大橋を渡りました



順番に橋桁内部に入りました



橋桁内部にタイムカプセル設置



地元住民を対象とした現場見学会（豆谷橋梁上部工架設現場）